

観測施設情報

施設名	筑波大学菅平高原実験センター	
施設写真		
		
		
		
施設情報	所属先	筑波大学菅平高原実験センター
	施設所在地	〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1278-294
	TEL/FAX/URL	0268-74-2002 (平日のみ) / 0268-74-2016 / http://www.sugadaira.tsukuba.ac.jp/
施設概要	<p>菅平高原実験センターは、長野県上田市の菅平高原のほぼ中央部の標高 1,300m に位置し、年降水量(平均値)は 1,226mm で、夏は比較的涼しく乾燥しており、冬は寒さが厳しく、雪に覆われます(写真 a)。教育・研究の場として、実験地は樹木園(約 4.5ha)、草原(約 6ha、写真 b)、アカマツ林(約 8.5ha、写真 c)、落葉広葉樹林(約 14ha、写真 d)に分かれています。秋の刈り取りにより、半自然草原が維持されており、ススキ・ヤマハギ・ワレモコウ等が優占し、国内でも貴重な草原です。草原では、生物相の調査や、草原生態系と大気間の熱及び二酸化炭素フラックスの測定、オーブントップチャンバーによる、温暖化実験等が行われています。また、アカマツ林や落葉広葉樹林においては、自然の移り変わりの追跡調査や毎木調査、昆虫や菌類の生物相調査が行われています。次世代型 DNA シーケンサー(写真 e)や、国内の大学では初となる光顕内蔵型透過型電子顕微鏡(写真 f)を導入し、生物科学に関する様々な研究が進められています。</p>	
施設・測器	気象観測装置、積雪深測定器、次世代型 DNA シーケンサー(Ion PGM, ライフテクノロジー)(写真 e)、光顕内蔵型透過型電子顕微鏡(HT7700, 日立)(写真 f)等	
観測項目	気象観測(気温、湿度、風向・風速、全天日射量、雨量、雪量等)、植生、生物相等	
観測データ	「菅平生物多様性・生態系データベース」から、生物相や標本の生データや、気象や植生のメタデータが公開されています。 http://www.sugadaira.tsukuba.ac.jp/activity/database.html 生データの利用を希望する場合には、まずはお問い合わせ下さい。	
共同利用	フィールドや宿泊等の施設、装置の共同利用は可能です。まずは施設情報の URL 内の利用案内をお読みいただき、事務所にお問い合わせの上、必要書類を提出して下さい。	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・2013 年に、文部科学省の教育関係共同利用拠点に認定され、多様な実習を全国の国公立大学に公開しています。 ・中部山岳大学間連携事業(筑波大学、信州大学、岐阜大学)のコアサイトの 1 つです。 ・2008 年から、日本長期生態学研究(JaLTER: Japan Long-Term Ecological Research)のコアサイトに登録されています。 ・樹木園は一般に公開されています。センター園内の見学も受け付けています。 	

更新日: 2014 年 3 月 20 日

